

## シラバス確認

シラバス入力 &gt; シラバス確認

印刷する

更新

開講年度 Academic year	2025年度		
講義コード Course title (Japanese)	0A2000101		
講義名 Course title (Japanese)	企業論		
英文講義名 Course title (English)	Theory of Firms		
(副題) Course subtitle			
開講責任部署 Faculty			
講義開講時期 Semester (s)	前期	講義区分 Type	講義
単位数 Credit hour (s)	2	時間 Total hours	0.00
代表曜日 Day	火曜日	時限 Period	1 時限
校地 Campus	本キャンパス(駅東通り)		

所属名称	ナンバリングコード
	B1-MAN116LJ

担当教員 Lecturer (s)			
職種 (専任教員・非常勤教員) Position (Full-time/Part-time)	担当教員名 Lecturer (s)	実務経験の有無 Work experience	所属学部 Department
兼任教員	◎ 仁平 晶文		経営学部

授業の内容 (主題) Course description	<p>現代社会を構成する代表的な組織体の一つが企業と呼ばれる組織体である。</p> <p>確かに私たちの身の回りを眺めてみると、企業によって生み出された多様な製品・サービスを見いだすことが可能である。また、高校や大学などを卒業後、企業においてキャリア (仕事人生) を積み重ねていく人も数多く存在する。その意味でも、企業は私達人間と密接に関係していると言えるし、私達の生活は企業によって支えられているといっても過言ではない。</p> <p>このように現代社会に暮らす人々と密接に関係している企業について、本科目では具体的な事例を用いながら、深く考察していくこととする。</p>
到達目標 Course objectives	企業が経済のみならず社会全体の中でどのように活動しどのような役割を果たしているのかについて知り、企業活動を支える根本原理について説明できるようになる。
ディプロマポリシーとの関連 Accordance with diploma policy	

◎：非常に強く関連する  
 ○：強く関連する  
 △：関連する  
 空欄：該当しない

①二十一世紀の社会の発展と地域の産業、経済、文化等の活性化に貢献できる能力	◎
②激変する国際社会の中にあつて、十分な異文化理解のもとに、長期的で広い視野に立って将来を展望し、行動できる能力	△
③本格的な高度情報社会において、最新の情報を的確に入手し、それを有効に活用したうえで効果的に情報を発信できる能力	○
④自らの判断、努力と責任に基づいて、社会に積極的に貢献できる豊かな教養と柔軟な思考力	○

授業計画表  
 Course plan

回 Class sessions	内容 Topics	予習・復習 Expected work outside of class
第1回	「企業」を学ぶ意味	予習：身の回りの企業名をリストアップする（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第2回	制度としての企業	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第3回	個人企業と会社	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第4回	株式会社制度	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第5回	コーポレート・ガバナンス	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第6回	組織としての企業	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第7回	企業と組織構造	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第8回	日本型企业組織	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第9回	企業と経営戦略	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第10回	M&Aと戦略的提携	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第11回	社会の中の企業	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第12回	企業の社会的責任	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第13回	企業環境とステークホルダー	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第14回	企業倫理とコンプライアンス	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）
第15回	企業の社会貢献活動	予習：テキスト該当箇所の読込（2時間程度） 復習：授業で取り上げたキーワード・まとめ問題の復習（2時間程度）

授業計画コメント  
 Course outline

講義の進行状況によって順序が入れ替わる場合もある。

授業の進め方  
 Session plan

毎回の講義はパワーポイントを使用したプレゼンテーション形式で進行していく。  
 資料動画、新聞・雑誌記事等も活用しながら理解を深めていく。  
 授業の最後に演習問題の解答を提出する。

アクティブラーニング  
 Active learning

講義形式で行うが、講義内で適宜行う質問の投げかけや講義最後に演習問題を設定し、それに対する解答の提出を求めするなど、学生の主体的な学びを促進するような講義を展開していく。

授業時間外の学修（予習・復習等）  
 Preparation and review outside classroom hours

各回の授業テーマについて、テキストの該当部分を参照して予習する（各回につき2時間程度）  
 講義で取り上げたキーワード・専門用語ならびに講義最後に示した問題を復習する（各回につき2時間程度）

教科書等  
 Textbooks and materials

タイトル Title	著者名 Author (s)	出版社 Publisher	出版年 Year of	価格 Price	ISBN
---------------	-------------------	------------------	----------------	-------------	------

				Publication		
1	問いからはじめる現代企業	小山巖也/出見世信之/谷口勇仁	有斐閣	2018	1,800円+税	9784641150621
2						
3						
4						
5						

(必ず購入すべきもの) Materials required for sessions	上記教科書を基に授業を展開していく。
--	--------------------

参考図書 Reference book(s)	授業内で随時紹介する。
---------------------------	-------------

成績評価方法および評価基準 Evaluation criteria	
--------------------------------------	--

	定期試験 Tests	授業内小試験 In-class quizzes	レポート・課題 Reports/Assignments	受講態度 Class Attitude
評価比率% Evaluation ratio	50%	0%	20%	30%

成績評価の方法に関する注意点 Assessment criteria	授業各回で実施される演習問題の解答を受講態度に含めて評価する。 全15回の授業のうち演習問題を10回以上提出することにより期末試験の受験資格が得られる。
---------------------------------------	---

課題のフィードバック Feedback	授業各回で実施される演習問題のフィードバックは、翌週の授業冒頭に講評・解説を行う。
------------------------	---

学生へのメッセージ（履修上の心得） Message to students (class guidelines)	各回の講義スライドで紹介される重要ポイントをノートに取りながら、レポート執筆ならびに期末試験の際の参考にしてください。
---	---

科目のレベル、前提科目など Level / Prerequisites	経営学、会計学を学んでいく際の土台となるような基礎的な講義内容（入門レベルの内容）となっている。
--	--

オフィスアワー/学生からの連絡方法 Office hours/Contact Information	授業開始前・授業終了後に対面での質問・相談を受け付けます。 教員に対する連絡は、Webclassのメッセージを利用して行うこと。
---	---

キーワード Keyword(s)	企業、株式会社、企業形態、コーポレート・ガバナンス、CSR
---------------------	-------------------------------